

# 2018 年度事業報告

2018 年 4 月 1 日より 2019 年 3 月 31 日まで

## 1. 【事業成果】

2018 年度事業は、従来どおり部会活動及び事業部運営を基本に活動を進めてきており、新しい取り組みも取り入れながら、計画を超える成果をだすことができた。

「生物多様性保全部会」は、宇都宮共和大学の支援をいただき、次代を担う子どもにスポットあてた企画で大きな評価を得た。今年度は、ミヤラジに出演したり壁新聞づくりなど活動の幅が広がった。

「里山保全部会」は、月例の整備作業に一般の参加者が増え楽しむ活動の輪が広がった。また、環境学習センターの支援事業として「みずほの自然探検隊」の企画運営を行った。

「再生可能エネルギー部会」は、月例勉強会を継続、新しく「我が家のエネルギー消費」を調査研究、広報用 DVD の制作、宇都宮市との意見交換、環境学習センターの支援事業として「施設見学会」の企画運営、来年度「環境大学」の企画準備等を行った。

また、「情報部会」は、ホームページで活動状況をこまめにアップすることができた。

初めての企画で、食品ロスをテーマにした映画会とワークショップを開催、大きな反響を得た。

受託事業である宇都宮市環境学習センターは、指定管理者第 2 期（26～30 年度）の最終年度を終了した。引き続き第 3 期（5 年間）を獲得することができた。2018 年 12 月には、累計利用者 5 0 万人を達成し、新聞でも取り上げられた。この種の施設としては全国的にみても注目される成果である。

## 2. 【事業計画と成果】 （細部は別添資料「2018 年度事業実施報告書」を参照）

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	成果
1) ホームページの運用 <b>【運営：情報部会】</b> 2014 年度末全面改訂したホームページの内容を充実し活動の見える化を進める。各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、機能の充実を図る。 さらにメルマガ等を活用し、会員へのホットな情報発信にも努める。	<b>【運営：情報部会】</b> 維持しやすくなったホームページを生かしてフォーラム活動を年間 70 回と過去最高の情報アップを実現できた。 今年度は他団体へのリンクは県地球温暖化防止活動推進センターなど一部にとどまったが、今後も、メルマガ発信を含め、精力的に情報発信につとめたい。
2) 会報誌 (Eco together) の発行 <b>【運営：情報部会】</b> 特集記事の企画、会員の登場、他団体と連携した紙面づくりを行い、タイムリーな環境情報を掲載する。2018 年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりを心がける。 発行予定回数：4 回(6 月, 9 月, 12 月, 3 月) 配布先： 従来の会員に加え関係団体・機関へも配布	<b>【運営：情報部会】</b> 会報誌 (Eco together) の発行 部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい紙面構成にした。「会員レポート」「子育てママのひとこと」など新しい企画も取り入れた。 ・発行回数：4 回(6 月、9 月、12 月、3 月) ・配布先：会員、関係団体、一般 <b>【発行部数 約 220 部 * 4 回】</b>

<p>3) 環境イベントへの参画</p> <p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRと入会活動に努める。</p> <p>① もったいないフェア（9月予定） 場所：宇都宮城址公園</p> <p>② エコテック&amp;ライフとちぎ（11月予定） 場所：マロニエプラザ</p> <p>③ その他環境イベント</p>	<p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>① もったいないフェア 2018 9月30日（日）計画&lt;荒天のため中止&gt;</p> <p>② エコテック&amp;ライフとちぎ 2018 12月2日（日） ブース体験者69人</p> <p>③ 環境学習センター「チャレンジもったいない2018」 8月25日（土） 同 68人</p> <p>④ 環境学習センター「エコまつり2019」 3月2日（土）～3日（日） 同98人</p> <p>⑤ とちぎ放送「とちぎの元気（30分）」に 理事長出演フォーラム紹介：2月18日（月）</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約240人】</b></p> <p>◆2018年度フォーラム新規加入者数 7人◆</p>
--	--

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b></p> <p>行政、他団体、学生等と協力して、生物多様性保全に関する事業を展開する。</p> <p>① 生物多様性を楽しみながら身近に感じられる取組の実施</p> <p>② 生物多様性を理解することができる、わかりやすい教材づくり</p>	<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b></p> <p>次代を担う子どもにスポットをあてた企画を宇都宮共和大学の支援を受け実施した。</p> <p>① 第1回「親子で楽しむ自然体験」 8月21日（火）@環境学習センター56人</p> <p>② 第2回「親子で楽しむ自然体験」 2月10日（日）@環境学習センター40人</p> <p>☆ミヤラジに出演し、活動実績を紹介。 ☆壁新聞を制作し、活動成果を紹介 (環境学習センターに展示)</p> <p><b>【参加者合計（事前訓練含む）：約120人】</b></p>
<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>里山環境の保全と環境学習の場を提供する。</p> <p>① 里山の保全活動： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行う。</p> <p>② 環境学習センター事業支援： 「みずほの自然探検隊」の企画・運営支援を行う。</p>	<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>① 里山環境の保全を継続して実施した。 (毎月第3日曜日) 場所：みずほの里山保全地 参加者：延べ161人（年12回開催）</p> <p>② 親子で参加する「みずほの自然探検隊」の企画運営を行った。 場所：みずほの里山保全地 参加者：延べ183人（年10回開催）</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約350人】</b></p>

<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>COP21 パリ協定が発効し、世界は脱炭素社会実現に向けて舵をきり、改めて再生可能エネルギーの重要性が注目されている。遅れている日本の再生可能エネルギーの創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探るとともに、環境学習の場を提供する。</p> <p>① 勉強会・施設見学会・実践者を講師にした研修会の実施等（毎月）</p> <p>② 部会員の追加募集</p> <p>③ 環境学習センター事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木の再生可能エネルギー施設見学会（地域エネルギーの有効活用他）」の企画運営</li> <li>・「チャレンジもったいない」「エコまつり」等環境イベントへの参加</li> </ul>	<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>① 月例勉強会を毎月実施、「第5次エネ基本計画評価」「我が家のエネ調査」「広報用DVD制作」などが主な活動であった。</p> <p>7月 宇都宮市と意見交換 「環境状況報告書の評価」</p> <p>3月「我が家のエネ調査結果」パネル展示</p> <p>② 新規部員 1名（現在会員12名）</p> <p>③ 環境学習センター等支援事業</p> <p>8月「チャレンジもったいない2018」に出展</p> <p>12月「エコテック&amp;ライフ2018」に出展</p> <p>3月「エコまつり2019」に出展</p> <p>3月「熱に注目！施設見学会」を企画運営</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約410人】</b></p>
---	---

(3) テーマに応じた環境の企画・実践に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。</p> <p>① 野鳥観察会（日本野鳥の会栃木との連携）</p> <p>② プチ農業体験（地元さつきプロジェクトチームとの連携事業）7年目を迎える今年度は、「野菜づくり」を通じて自然の恵・大切さを知る</p> <p>③ 環境映画会&amp;ワークショップの開催</p> <p>大学と連携し市民向けに、食品ロスに着目した映画とワークショップを企画運営する</p>	<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>① 野鳥観察会を、日本野鳥の会栃木と共催で 12月8日(土)@県中央公園 75人</p> <p>② プチ農業体験プロジェクト（地域活動支援事業） 地元さつきプロジェクトとの共催で、農家の畑をお借りして野菜づくりと自然観察等。 5月19日(土)～12月9日(日) 8回 @針ヶ谷農地 参加者 延べ360人</p> <p>③ ゼロ円キッチン映画会とワークショップ開催 市民学生の参加で意義ある事業に 75人</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約510人】</b></p>

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画	成果
<p><b>運営：学習センター事業部】</b></p> <p>平成30年度は、指定管理者第2期の最終年度にあたる。年間利用者3万人超えを安定的に確保できる実力はついてきたが、事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を狙いたい。</p> <p>また、宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めていく。</p>	<p><b>【運営：学習センター事業部】</b></p> <p>指定管理者第2期最終年度は、「第3次環境基本計画」、「生きものつながりプラン」に掲げられた数値目標を達成するため、講座内容を見直し、環境学習系を強化した。</p> <p>その結果、利用者数は、36,118人となり、年度当初目標34,500人を大きく上回るとともに、前年度に引き続き、3万5千人の大台を超えることができた。</p> <p>また、チャレンジもったいない、エコまつり、施設見学会、小学校出前講座、こどもエコクラブではフォーラムの支援を得て実施し、連携を深めることができた。</p>

<p>1) 環境学習機会提供機能 「地球温暖化」と「生物多様性」を重点テーマに、講座・展示の充実を図るとともに、新しい参加者層獲得のためきめ細かい活動を展開する。また、昨年度宇都宮市環境基本計画を始め、関連計画が更新制定された。これら計画推進に向けて環境学習拠点施設としての役割を果たしていく。</p> <p>2) 活動支援機能 昨年度活動強化された「こどもエコクラブ」の事務局として、引き続き活動を支援する。さらに、学習センターで活動している「自主活動グループ」の活性化を図る。また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての活動支援参加を働きかける。</p> <p>3) 交流促進機能 自主活動グループ、地元自治会、各種団体、地元高校、企業等の支援をいただき今年度も「エコまつり」「チャレンジもったいない」等を開催し、新たな市民の参加を促進する。</p> <p>4) 情報提供機能 26年度末に全面改訂したホームページ（FaceBook含む）での情報発信力強化、1階展示場の改善、再生品提供事業、視聴覚教材、各種環境団体、企業などの情報提供を充実する。</p> <p>5) 体質強化機能 市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。</p> <p>6) 市民サービスの向上 フォーラムを含め外部評価を積極的に実施し事業運営に反映する。</p> <p style="text-align: center;"><b>【利用者目標人数 34,500人】</b></p>	<p>1) 環境学習機会提供機能 ・「地球温暖化」と「生物多様性」を重要テーマに環境大学（5回連続シリーズを2回）、生物多様性連続講演会を2回実施するとともに、親子の川遊び、足尾で植樹、渡良瀬遊水地での講義と実践、エコな施設等の見学会などを実施した。講座数は過去最高で、参加者も前年度を大きく上回った。 ・見学者数は、自治会、団体等の見学の減に伴い、前年度に比べ少し減少した。</p> <p>2) 活動支援機能 ・環境未来館こどもエコクラブの活性化に努めた。また、地域事務局企画も実施し、こどもエコクラブの交流も図った。 ・自主グループ他は、新たに3つの自主グループが立ち上がったため、件数、人数とも前年度を大きく上回った。 ・また、イベントでは、多くのフォーラム会員にスタッフとしてサポートしていただいた。</p> <p>3) 交流促進機能 ・宇都宮工業高校と連携し、廃棄自転車を利用した小水力発電装置を製作、釜川に設置した。今年は、小水力のほかに、太陽電池パネル発電も設置し、ハイブリッド発電にリニューアルした。 ・「チャレンジもったいない」、「エコまつり」を自主活動G、地域の皆様、各種環境団体、地元高校等の支援を得て開催し、多くの来場者を得て成功裏に終了した。</p> <p>4) 情報提供機能 ・ホームページを活用し、情報発信力を強化した。また、フェースブックにより、旬な情報をリアルタイムで発信してきた。ホームページの訪問者数、アクセス回数ともに、順調に増加している。</p> <p>5) 体質強化機能 ・教育研修等を毎月1回以上実施し、職員のスキルアップに努めたほか、朝会、夕会等で情報の共有化等に努めた。</p> <p>6) 市民サービスの向上 ・各講座ごとにアンケート調査を実施。また、館内に意見箱を設置し、ニーズ/クレームを継続的に把握し対応した。</p> <p style="text-align: center;"><b>【実績人数：36,118人（前年度比97%）】</b></p>
--	--